

ふりがな 活動組織名	よしはしあぐりくらぶ 芦橋アグリ倶楽部				活動開始 年度	令和3年度
ふりがな 所在地	かすかべよしはしちない 春日部市芦橋地内				現活動期間	R3～R7
交付金額（基本）	農地維持	740,700 円	資源向上 （共同）	487,000 円	資源向上 （長寿命化）	円

※交付金額は、交付単価に基づいた金額を記入しています。

主な活動 又は 特色ある活動

「子孫に美田を残さず」これは有名な老子の言葉です。「子孫に美田を残すと、それに頼ることで働くことをしなくなり、ろくな人間にならない。」と老子は説いたのです。これはこれで正しい。ところで私たちの先祖は、子孫のために美田を残してきました。それは生産や生活の基盤として田畑を残したものであり、それを受け継いだ者もまた田畑を耕し、何代も何代も積み重ねながら「美田」を守り続けてきたのです。こうした積み重ねが今日の日本の農業を支えることになり、美しい田園風景を残すことにつながったのです。「子孫に美田を残す」これはこれで正しかったと言えます。さて、私たちは令和3年4月1日に地区内の27名の有志によって「芦橋アグリ倶楽部」を設立し、活動を始めました。芦橋地区の「美しい田園風景」を将来にわたって守り続けていくことを活動の基本方針として、農林水産省の多面的機能支払交付金を活用し、農地や水路等の保全管理のための草刈りや補修活動、環境整備のためのごみ拾いや農道沿いの花壇への植栽などの活動を行っています。また、今後の活動計画を策定するためにアンケート調査を実施する予定です。



（ 作業前のミーティング ）



（ 農業の草刈り ）



（花壇への植栽）

今後の取組について

最近の農業を巡る環境は大きく変化しました。農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など、多くの問題を抱えています。さらに、ここにきて米の出荷価格の低迷が重なり、農業継続の意欲がそがれ、離農を考える農家が増えてきています。このような状況は芦橋地区でも同様で、家族を中心に営まれてきた農業が限界を迎えています。現在、私たちは営農部を立ち上げることを検討しています。農家の担い手不足を応援したり、個人での買い替えが難しくなってきた農業機械の貸し出しを行うなど、地区内の農家が安心して頼ることができる組織を目指します。

【認定の対象となる資源の状況】

田	畑	草地	用水路 （開水路）	用水路 （パイプライ）	排水路	ため池	農道
34 ha	5 ha	ha	7,700 m	m	m	箇所	8,800 m

【活動組織の構成員】

農業者	：	27 人	主な構成	個人のみ
非農業者	：	人	団体名	